

# 親鸞聖人 759 回会 了善寺報恩講

## — コロナ下だからこそ 報恩講です —

報恩講の法要は、あの戦時中、御記憶があると思いますけれども、空襲警報の中でもつとめました。暗幕を張ってお勤めをし、法話の最中にたびたび空襲警報を耳にしたものです。けれども報恩講の法要だけは一年も欠かさずに勤めました。  
(長川一雄『高倉会館法話集・よき人のおおせ』55頁)

世界は大きく変わりつつあります。「子は親の世代より豊かになる神話は崩れ」「20世紀型の価値観の再構築が問われています」(9月7日付日経新聞1面「成長の女神どこへ」との記事が直面する課題を簡潔に言い当てています。世界の状況は私たちに「変革を迫る」と同時に「変えてはならないことは何か」を問うてきます。

戦時中も仏法のともしびを絶やさなかった先達の証言に会い、たるんだ背筋が伸ばされます。本年の報恩講は、新たに初夜(しよや)法要を加えて、10月24・25の両日に計四座の法要を勤めます。例年のような満堂の報恩講にはしばらく見えませんが、2通りの参詣方法をご案内します。

本堂参詣 <12名限定> (完全予約制・電話先着順)

ズームによる在宅聴聞ざいたくちょうもん (メールによる事前申込制)

また25日 日中法要における池田勇諦先生のご法話の讃題は  
「どこへ行くのですか - 根拠と方向」です。

一昨年は真実行(「称名念仏-念仏申すとは?」)、昨年は真実信(「信心とは何か/何でないか」)、今年には真実証が課題です。世界中が根拠も方向も喪失した今、讃題が身に響きます。新たな出発を恵んで下さる予感が湧き上がります。

本年は池田先生を東京にお招きすることは控え、無理を申し上げてオンライン(ZOOM)でのご出講となりました。仏法は息吹と体温を感じる「面授」に尽きます。ですが外出を控えている方、介護や子育てにより家を留守にできない方、海外など出張先からの参詣、同居する孫と一緒に参詣、入院・入所中の方の参詣

など、オンラインが開く新たな地平も今春以降の取り組みの中で見えてきました。念珠を手にモニターの前で「在宅聴聞」するのは、「家を寺にせよ」(西村見暁)との教命の実験でもあります。

尚、ズーム利用に関する個別の電話サポートやわかりやすいマニュアルも用意しています。パソコン・タブレット等をお持ちでメールの送受信が可能な方は、思うよりもずっと簡単です。まずはお気軽にお問い合わせください。

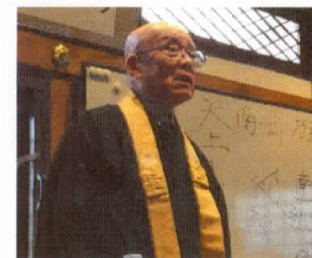
仏法は現実逃避でも息抜きでも生きるヒントでも心の支えでもありません。真実です。本堂または「在宅聴聞」で今年の報恩講に遇って下さい。南無阿弥陀仏

### ◇報恩講次第

10/24 (土) 14時-16時半 <sup>たいや</sup>速夜法要 (お勤め・住職法話)

18時半-20時 <sup>しよや</sup>初夜法要 (お勤め・住職法話)

10/25 (日) 8時-8時半 <sup>じんじょう</sup>晨朝法要 (お勤めのみ)



13時-16時 : 日中法要

講師 池田勇諦 (いけだ ゆうたい) 師

(昭和9年生まれ・大谷派「講師」・同朋大学元学長・西恩寺前住職)

### ◆報恩講のお申し込みは—

本堂参詣 電話受付のみ! ☎03-3451-5646  
※先着順・24日土曜「速夜」/「初夜」/25日日曜「日中」

ズーム参詣 メールにて受付 10月22日(木)締め切り  
※晨朝を除く三座を配信予定。  
☞メール [ryouzenji@ked.biglobe.ne.jp](mailto:ryouzenji@ked.biglobe.ne.jp)

◆ご自宅等での在宅聴聞(ズーム参詣)においても、念珠(数珠)を手になされ、居ずまいを正してお参り下さい。本堂参詣者と同様に随意のご志納を仰ぎます。住職・役員一同  
☞ 三井住友銀行 浜松町支店(普通) 0558485 宗教法人了善寺

了善寺公式サイト

検索

了善寺公式サイト <https://ryouzenji.or.jp/>